

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	インターネットと情報倫理	前期	火3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	曹 真	1年	m. sou@okiu. ac. jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>現在の社会において、インターネットは身近で便利なメディアとなり、私たちの社会生活を豊かにしている。その反面、インターネットの利用によって引き起こされる犯罪や事故も後を絶たない。本講義では、インターネット社会において、犯罪に巻き込まれないよう、また知らず知らずのうちにも自らが加害者とならないよう、私たちが快適な生活を送るための規範と規律である情報倫理を学ぶ。</p>	<p>インターネットは現代社会における必須のツールです。情報技術も進歩して、より便利に、気軽に利用できるようになりました。ただその一方で、思わぬところでトラブルに見舞われる事例も頻発しています。インターネットをやみくもに使うのではなく、賢く利用して、私たちの生活をより快適なものにしていきましょう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットの基本的なしくみを説明できる。 2. 現代社会において、どのようなかたちでインターネットが活用されているのかを説明できる。 3. インターネット利用時におけるルールや倫理観を理解し、日常でそれらを遵守できる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	ガイダンス	シラバスの理解
2	インターネット概論（1）インターネットを繋ぐ形	配布資料の理解・確認問題の解答	
3	インターネット概論（2）データを送受信する方法	配布資料の理解・確認問題の解答	
4	被害者・加害者にならないためのインターネット利用	配布資料の理解・確認問題の解答	
5	インターネットと情報社会	教科書の理解・確認問題の解答	
6	インターネットと個人情報	教科書の理解・確認問題の解答	
7	インターネットと知的財産権	教科書の理解・確認問題の解答	
8	インターネットと生活	教科書の理解・確認問題の解答	
9	インターネットとビジネス	教科書の理解・確認問題の解答	
10	インターネットと教育	教科書の理解・確認問題の解答	
11	インターネットとコミュニケーション	教科書の理解・確認問題の解答	
12	インターネットと犯罪	教科書の理解・確認問題の解答	
13	インターネットとセキュリティ	教科書の理解・確認問題の解答	
14	健全な情報社会を目指して	教科書の理解・確認問題の解答	
15	総括	教科書の理解	
16	期末試験	試験勉強・採点後の復習	
テキスト・参考文献・資料など	テキスト・参考文献・資料など 情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ「インターネットの光と影 Ver. 5」北大路書房（2014）		
学びの手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・指定した教科書の内容に沿って授業を進めるため、教科書は必ず用意すること。 ・講義への貢献度を測る一環で、毎回出欠を確認する。 		
評価	期末試験（100点満点）と出席率により、以下のよう算定する。 （期末試験得点）×（出席率）		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この講義で学ぶインターネットの知識、ルール、倫理観は、社会人として自立するための基礎になります。今後はここで得た学びをもとに、日々情報収集に努め、動向を抑え、常に正しい判断をもってインターネットの利用に臨んでください。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報科学	前期	月3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-與儀 達裕	1年		

学びの準備	ねらい 計算機による情報の意味、情報の扱い方、情報の表現方法、論理的な仕組み、機械的な仕組みを学び計算機を使うだけにとどまらず計算機の内部に関心を持って学習していけば、情報の世界が深く理解できる。	メッセージ 計算機を利用することが中心になる反面、内部を理解しておくことは情報の世界の長所、短所を知ることになる。計算機の利用をさらに深めていくためにも情報を科学的に学習していくことが必要になる。
	到達目標 この講義を受講した後は、ハードウェア、ソフトウェアの世界が今までより理解が深まり効率的に計算機を利用しようとする問題意識が芽生えてくる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	ガイダンス
	2	情報とは何か？情報科学の誕生、情報の概念、情報の性質
3	データと情報の基礎 データ、情報、知識、アナログとデジタル	時間外学習の内容
4	データと情報の表現 数値の表現、整数と実数	
5	文字と画像の表現、情報の表現	
6	情報技術の基礎 情報技術の意味、変遷	
7	コンピュータの基礎、コンピュータの歴史	
8	ハードウェアの基礎 構成要素 論理回路 命令の基礎	
9	中間試験	
10	ソフトウェアとデータベース	
11	ソフトウェアの基礎 ソフトウェアとは ソフトウェアの種類	
12	アルゴリズムとプログラム プログラムとは アルゴリズムとは	
13	データベースの基礎 データベースの変遷 データベースとは	
14	データベースに必要な関係代数1	
15	データベースに必要な関係代数2	
16	期末試験	
実践	テキスト・参考文献・資料など 情報科学入門（第2版）伊藤俊彦 ムイスリ出版	
	学びの手立て 毎回講義の前には出席表を配布するので学生番号、氏名、所属学科名、講義名、講義の日時、講師の名前等を記入して講義終了後の提出すること。欠席回数が5回以上で不可になる。簡単な数学の集合論を使うので予習しておくことよい。2進数や16進数の表現にも慣れることよい。論理回路ではAND条件、OR条件やNOT条件の働きは重要なので理解することよい。	
	評価 中間試験1回、期末試験1回行う。2回試験の結果と出席状態で評価をするので試験は2回とも受験すること。1回でも休めば不可である。講義で話したことを中心に問題を作成するので、欠席すれば講義の内容や連続性が理解できなくなり不利になることもあるので注意すること。中間試験40%、期末試験40%、出席点10%とする。	

学びの継続	次のステージ・関連科目 情報科学を受講した後はデータベースの論理的な働きが理解できるのでその効果的な使用方法が得られる。データベースのアルゴリズムには検索のスピードが要求されることが理解できると同時にそのアルゴリズムは絶えず研究開発されていることが判る。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報科学	後期	火 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	曹 真	1 年	m. sou@okiu. ac. jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>現在の情報化社会では、様々なビジネスがITによって成り立っており、どのような業種・職種においても、ITを積極的に活用できる能力が不可欠となっている。本講義では、ネットワーク、セキュリティなどのITの基礎的な知識を学ぶ。その内容は、国家試験である「ITパスポート試験」の内容に準拠する。</p>	<p>将来どの分野に進むにしても、情報技術の知識は必要になります。本講義で学んだ知識をもってITパスポート試験の合格に繋がれば、将来社会人としてより良いスタートが切れるでしょう。</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータにおけるハードウェアについて説明できる。 ・ソフトウェアとマルチメディアについて説明ができる。 ・コンピュータにおけるシステム構成について説明できる。 ・コンピュータにおけるネットワークについて説明できる。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	ガイダンスの理解
	2	ハードウェア (1) 情報の表現	教科書の理解・確認問題の解答
	3	ハードウェア (2) メモリとキャッシュメモリ	教科書の理解・確認問題の解答
	4	ハードウェア (3) 入力装置と出力装置	教科書の理解・確認問題の解答
	5	ハードウェア (4) 基数変換と補数	教科書の理解・確認問題の解答
	6	ソフトウェアとマルチメディア (1) ソフトウェア	教科書の理解・確認問題の解答
	7	ソフトウェアとマルチメディア (2) バックアップ	教科書の理解・確認問題の解答
	8	ソフトウェアとマルチメディア (3) 表計算	教科書の理解・確認問題の解答
	9	ソフトウェアとマルチメディア (4) データ形式とマルチメディア	教科書の理解・確認問題の解答
	10	システム構成 (1) システムの構成	教科書の理解・確認問題の解答
	11	システム構成 (2) 性能評価	教科書の理解・確認問題の解答
	12	ネットワーク (1) ネットワーク方式	教科書の理解・確認問題の解答
	13	ネットワーク (2) インターネットの仕組み	教科書の理解・確認問題の解答
	14	ネットワーク (3) 電子メール	教科書の理解・確認問題の解答
15	総括	教科書の理解・確認問題の解答	
16	期末試験	試験勉強・採点後の復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 講義時に指定する。
-------	-----------------------------

学びの手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・指定した教科書の内容に沿って授業を進めるため、教科書は必ず用意すること。 ・講義への貢献度を測る一環で、毎回出欠を確認する。 ・ITパスポート試験を合格するには、本講義で取り扱う内容(テクノロジー系)の他、プロジェクトマネジメント、経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般に関する知識など幅広い分野の総合的知識を要するため、それらに関しては別で学ぶ必要がある。
--------	---

評価	<p>期末試験(100点満点)および出席率をもとに以下のような評価を算定する。 (期末試験得点) × (出席率)</p>
----	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ITパスポートを取得するには、更なる学習を要する。情報技術の進展は速いため、講義を履修した後も常に情報収集に努めること。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 大井 肇	後期	木 5	2
		対象年次 1年	授業に関する問い合わせ ohi@okiu.ac.jp、研究室(5522)、オフィスアワー月4	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
	15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習
16	学期末試験		

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大井 肇	1年	ohi@okiu.ac.jp、研究室(5522)、オフィスアワー月4	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など
	① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。

学びの実践	学びの手立て
	① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。

学びの実践	評価
	① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。

学びの継続	次のステージ・関連科目
	本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 大山 健治	前期	月 3	2
		対象年次 1年	授業に関する問い合わせ 授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットを介してビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組めば、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)
	2	タイピングと日本語入力
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)
	9	表計算処理 1 (基本操作)
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)
	15	情報倫理
16		
	時間外学習の内容	
	ホームポジションからの練習	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	Word宿題①に取り組む	
	Word宿題②に取り組む	
	Word宿題③に取り組む	
	Word宿題④に取り組む	
	Excel宿題①に取り組む	
	Excel宿題②に取り組む	
	Excel宿題③に取り組む	
	Excel宿題④に取り組む	
	プレゼン宿題①に取り組む	
	プレゼン宿題②に取り組む	
	配付資料を読みながらの復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 大山 健治	前期	木 5	2
		対象年次 1年	授業に関する問い合わせ 授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)
	2	タイピングと日本語入力
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)
	9	表計算処理 1 (基本操作)
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)
	15	情報倫理
16	学期末試験	
	時間外学習の内容	
	ホームポジションからの練習	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	Word宿題①に取り組む	
	Word宿題②に取り組む	
	Word宿題③に取り組む	
	Word宿題④に取り組む	
	Excel宿題①に取り組む	
	Excel宿題②に取り組む	
	Excel宿題③に取り組む	
	Excel宿題④に取り組む	
	プレゼン宿題①に取り組む	
	プレゼン宿題②に取り組む	
	配付資料を読みながらの復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-原田 真知子	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	ホームポジションからの練習
	2	タイピングと日本語入力	機能を確認し、操作に慣れる
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	Word宿題①に取り組む
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題②に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題③に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題④に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Excel宿題①に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題②に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題③に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題④に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	プレゼン宿題①に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題②に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	配付資料を読みながらの復習
15	情報倫理		
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	後期	木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-原田 真知子	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

※ポリシーとの関連性

本演習は、情報通信技術のみならず情報化社会に関する知識や、専門科目において必要となる基本的な情報処理能力を養成します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-與儀 達裕	1年		

学びの準備	ねらい 大学における勉学で必要となる情報処理の基礎を学びレポートおよび論文の作成に係るスキルを身につけ、かつその能力を高め将来のプレゼンテーションの能力を養う。	メッセージ ワードやエクセルおよびパワーポイントの使いかたを学び、レポートや論文の作成に必要な能力を身に着ける。
	到達目標 この講義を受講した後は、ワードで文章を作成し、エクセルで図や表を作成したりできるようになる。これを身につけたあとは文章に表やグラフを繰り返し込むことができレポートや論文の作成が効率的に行えるようになる。エクセルのデータベース機能を学べば、膨大なデータの中から条件に合致するデータを抽出することができる。これは大規模なデータベースシステムを使う場合にも応用できるのでデータベースの構造も理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	ガイダンス
	2	文字の入力方法、キータッチの練習（英文、和文）
	3	基本的な文書の作成 1
	4	基本的な文書の作成 2（表の作成）
	5	基本的な文書の作成 3（数式の入力）
	6	ミニテスト 1（文書作成 表を含む文書）
	7	表の作成 1（初歩的な関数の使い方 1）
	8	表の作成 2（統計的な関数の使い方）
学びの実践	9	グラフの作成 1（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）
	10	グラフの作成 2（折れ線グラフ、重回帰直線、最小二乗法）
	11	文書と表、グラフのファイルを結合して一つの文書のすること
	12	ミニテスト 2（重回帰直線、重相関係数、予測値の計算）
	13	データベース 1（AND条件、OR条件）
	14	データベース 2（AND条件、OR条件）データの抽出
	15	パワーポイント 1（研究発表の原稿作成）文章、表、グラフ、写真の入力
	16	ミニテスト 3（AND条件、OR条件のデータ抽出）
学びの実践	テキスト・参考文献・資料など テキストは使わない。文書等は文書検定の2級程度の参考文例を配布して作成させる。表やグラフも例題を使い作成をする。データベースも同様にAND条件やOR条件を使いデータの抽出を行う。	
	学びの手立て 各講義においては操作の手順を口頭で行うので、必要ならばメモを取る。出席は出席表を配布するのでそれに学生番号、氏名、講義名、出席した日時、講師名を記入して講義が終了した時点で提出すること。5回の欠席は不可である。欠席回数に注意すること。ミニテストを3回行うが各自、自分の答案のみを作成すること。代理受験とおもわれる答案は不可とする。（当人の答案作成以外に他人の答案を作成すること、またはそれを依頼することは不可である）	
学びの実践	評価 評価はすべて3回のミニテストのできばえで評価する。A, B, C, Dと段階をつけて返却するので成績を確認すること。欠席が5回以上あれば不可である。授業の中で取り上げたソフトウェアの使い方を中心にテストを行うので、これらは基礎的な事柄として身につけているかを計るのを目的としている。	

学びの継続	次のステージ・関連科目 この講義を受講した後は、レポートや論文の作成に活用することに力を入れて欲しい。すべての必要な知識を網羅的に伝えることは不可能なのでさらに活用可能な操作や機能においては必要に応じて自分で調べ、探究して欲しい。
-------	--

※ポリシーとの関連性

本演習は、情報通信技術のみならず情報化社会に関する知識や、専門科目において必要となる基本的な情報処理能力を養成します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	後期	土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-與儀 達裕	1年		

学びの準備	ねらい 大学における勉学で必要となる情報処理の基礎を学びレポートおよび論文の作成に係るスキルを身につけ、かつその能力を高め将来のプレゼンテーションの能力を養う。	メッセージ ワードやエクセルおよびパワーポイントの使いかたを学び、レポートや論文の作成に必要な能力を身に着ける。
	到達目標 この講義を受講した後は、ワードで文章を作成し、エクセルで図や表を作成したりできるようになる。これを身につけたあとは文章に表やグラフを繰り返し込むことができレポートや論文の作成が効率的に行えるようになる。エクセルのデータベース機能を学べば、膨大なデータの中から条件に合致するデータを抽出することができる。これは大規模なデータベースシステムを使う場合にも応用できるのでデータベースの構造も理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	ガイダンス
	2	文字の入力方法、キータッチの練習（英文、和文）
	3	基本的な文書の作成 1
	4	基本的な文書の作成 2（表の作成）
	5	基本的な文書の作成 3（数式の入力）
	6	ミニテスト 1（文書作成 表を含む文書）
	7	表の作成 1（初歩的な関数の使い方 1）
	8	表の作成 2（統計的な関数の使い方）
学びの実践	9	グラフの作成 1（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）
	10	グラフの作成 2（折れ線グラフ、重回帰直線、最小二乗法）
	11	文書と表、グラフのファイルを結合して一つの文書のすること
	12	ミニテスト 2（重回帰直線、重相関係数、予測値の計算）
	13	データベース 1（AND条件、OR条件）
	14	データベース 2（AND条件、OR条件）データの抽出
	15	パワーポイント 1（研究発表の原稿作成）文章、表、グラフ、写真の入力
	16	ミニテスト 3（AND条件、OR条件のデータ抽出）
学びの手立て	テキスト・参考文献・資料など テキストは使わない。文書等は文書検定の2級程度の参考文例を配布して作成させる。表やグラフも例題を使い作成をする。データベースも同様にAND条件やOR条件を使いデータの抽出を行う。	
	学びの手立て 各講義においては操作の手順を口頭で行うので、必要ならばメモを取る。出席は出席表を配布するのでそれに学生番号、氏名、講義名、出席した日時、講師名を記入して講義が終了した時点で提出すること。5回の欠席は不可である。欠席回数に注意すること。ミニテストを3回行うが各自、自分の答案のみを作成すること。代理受験とおもわれる答案は不可とする。（当人の答案作成以外に他人の答案を作成すること、またはそれを依頼することは不可である）	
	評価 評価はすべて3回のミニテストのできばえで評価する。A, B, C, Dと段階をつけて返却するので成績を確認すること。欠席が5回以上あれば不可である。授業の中で取り上げたソフトウェアの使い方を中心にテストを行うので、これらは基礎的な事柄として身につけているかを計るのを目的としている。	

学びの継続	次のステージ・関連科目 この講義を受講した後は、レポートや論文の作成に活用することに力を入れて欲しい。すべての必要な知識を網羅的に伝えることは不可能なのでさらに活用可能な操作や機能においては必要に応じて自分で調べ、探究して欲しい。
-------	--

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 仲地 健	前期	月 5	2
		対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
	15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習
16	学期末試験		

実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
----	---

学びの手立て	① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
--------	--

評価	① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
----	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 仲地 健	前期	木5	2
		対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)
	2	タイピングと日本語入力
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)
	9	表計算処理 1 (基本操作)
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)
	15	情報倫理
16	学期末試験	
	時間外学習の内容	
	ホームポジションからの練習	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	Word宿題①に取り組む	
	Word宿題②に取り組む	
	Word宿題③に取り組む	
	Word宿題④に取り組む	
	Excel宿題①に取り組む	
	Excel宿題②に取り組む	
	Excel宿題③に取り組む	
	Excel宿題④に取り組む	
	プレゼン宿題①に取り組む	
	プレゼン宿題②に取り組む	
	配付資料を読みながらの復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	月 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-大田 かおり	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	月5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-大田 かお里	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別 後期	曜日・時限 月 4	単位 2
	担当者 -大田 かお里	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ	
			授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
	15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習
16	学期末試験		

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	後期	月5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-大田 かつお	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理 1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

※ポリシーとの関連性

本演習は、情報通信技術のみならず情報化社会に関する知識や、専門科目において必要となる基本的な情報処理能力を養成します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 曹 真	前期	月 5	2
		対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的スキルを習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組めば、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)
	2	タイピングと日本語入力
	3	学内グループウェア 1 (機能概要、基本操作)
	4	学内グループウェア 2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)
	5	日本語文書処理 1 (基本操作)
	6	日本語文書処理 2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)
	7	日本語文書処理 3 (ページレイアウト、罫線表作成)
	8	日本語文書処理 4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)
	9	表計算処理 1 (基本操作)
	10	表計算処理 2 (グラフ作成)
	11	表計算処理 3 (四則演算、関数処理)
	12	表計算処理 4 (データ検索と並べ替え)
	13	プレゼンテーション表現 1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)
	14	プレゼンテーション表現 2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)
	15	情報倫理
16	学期末試験	
	時間外学習の内容	
	ホームポジションからの練習	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	機能を確認し、操作に慣れる	
	Word宿題①に取り組む	
	Word宿題②に取り組む	
	Word宿題③に取り組む	
	Word宿題④に取り組む	
	Excel宿題①に取り組む	
	Excel宿題②に取り組む	
	Excel宿題③に取り組む	
	Excel宿題④に取り組む	
	プレゼン宿題①に取り組む	
	プレゼン宿題②に取り組む	
	配付資料を読みながらの復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	情報処理基礎	前期	木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-深水 孝則	1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。</p> <p>到達目標</p> <p>① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。</p>	<p>本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題①に取り組む
15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習	
16	学期末試験		

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料そしてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。</p>
-------	---

学びの実践	<p>評価</p> <p>① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名 情報処理基礎	期別	曜日・時限	単位
	担当者 -深水 孝則	後期	火5	2
	-深水 孝則	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	授業終了後、教室にて質問を受け付けます。	

学びの準備	ねらい 本演習では、情報収集、レポート作成、プレゼンテーションといった基礎的なコンピュータ活用能力の養成を目指します。具体的には、学内の情報環境に即したコンピュータ操作、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現、さらにインターネットを利用した情報収集といった情報技術の活用に関わる基礎的技能を習得します。	メッセージ 本演習での学びは、続く講義、演習、卒業論文そして就職活動において必要となります。また卒業後、どのような職業に就いてもインターネットそしてビジネスアプリケーションの使いこなしが求められます。講義内容もさほど難しくはありませんので、きちんと出席し与えられる課題に真面目に取り組み、十分な理解、習得が得られます。最後まで諦めずに頑張ってもらいたいと思います。
	到達目標 ① コンピュータ操作の基本となる、ブラインドタッチでのスムーズな入力作業ができるようになる。 ② ポータルサイト、掲示板、電子メールをはじめとする学内システムが円滑に利用できるようになる。 ③ インターネットにおける効率的な情報検索、さらに収集された情報について適切に評価し、活用できるようになる。 ④ Word、Excel、PowerPointといった基本的なビジネスソフトの利用法を学び、レポート作成、グラフ描画、データ処理そしてプレゼンテーションにおいて十二分に活用できるようになる。 ⑤ 基礎的な情報セキュリティの知識と情報モラルが理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	利用環境説明 (OS、アカウント、個人フォルダ、インターネット)	
	2	タイピングと日本語入力	ホームポジションからの練習
	3	学内グループウェア1 (機能概要、基本操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	4	学内グループウェア2 (メール・掲示板等のコミュニケーションツール操作)	機能を確認し、操作に慣れる
	5	日本語文書処理1 (基本操作)	Word宿題①に取り組む
	6	日本語文書処理2 (移動とコピー、書式設定、体裁処理)	Word宿題②に取り組む
	7	日本語文書処理3 (ページレイアウト、罫線表作成)	Word宿題③に取り組む
	8	日本語文書処理4 (クリップアート等の図形挿入、印刷処理)	Word宿題④に取り組む
	9	表計算処理1 (基本操作)	Excel宿題①に取り組む
	10	表計算処理2 (グラフ作成)	Excel宿題②に取り組む
	11	表計算処理3 (四則演算、関数処理)	Excel宿題③に取り組む
	12	表計算処理4 (データ検索と並べ替え)	Excel宿題④に取り組む
	13	プレゼンテーション表現1 (基本操作、オートシェイプ、リスト、表・グラフ)	プレゼン宿題①に取り組む
	14	プレゼンテーション表現2 (レイアウト、テンプレート、プレゼンテーション)	プレゼン宿題②に取り組む
	15	情報倫理	配付資料を読みながらの復習
16	学期末試験		

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ① テキスト・参考文献に関しては、各担当教員の指示に従ってください。 ② 資料に関しては、随時、Word、Excel、PowerPointにより作成された印刷物を配布します。 ③ 課題作成の際に必要なデータファイル等はInterCLASSによってパソコン配信します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ① 出欠を取ります。欠席はできれば事前にメールをください。また翌週に「欠席届け」を提出してください。 ② 講義において、求められる課題(宿題)の提出期限は、必ず守るようにしてください。 ③ パソコンを利用する機会があれば、その度に10分間でもいいのでタイピングの練習に励んでください。 ④ 配布される参考資料としてデータファイルは、講義終了となる期末まで毎回持参してください。 ⑤ 準備学習は2時間程と考えますが、理解が不十分あるいは課題の進捗が思わしくなければ、さらに時間をかけてください。 ⑥ どのような疑問も放置せず、講義中に教員に尋ねることはもちろん、オフィスアワーそしてメールにより解消してください。
-------	--

学びの実践	評価 ① タイピングは、実技試験とします(10点)。 ② Word、PowerPoint、は、毎回の課題提出にて評価します(50点)。 ③ 情報倫理に関しては、小テストにて評価します(10点)。 ④ 期末試験は、主にExcelに関する試験内容となります(30点)。 上記、①から④の総合的な評価により、本演習の成績とします。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 本演習において習得した、情報倫理、コンピュータ操作の基礎技術、日本語処理、表計算処理、プレゼンテーション表現の展開として、コンピュータそしてネットワークの仕組みといったITに関する知識をより深めることのできる「情報科学」、さらにインターネット上での活動をより円滑化そして効率化するための規範と規律となる情報倫理を学ぶ「インターネットと情報倫理」の受講を推奨します。
-------	---